

令和6年度 厚生労働科学研究費補助金（一次公募）課題（案）一覧

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
政策科学推進研究事業 (AA)	総合的な診療能力を有する医師の活躍の推進方策の検討のための研究 (AA-1)	<ul style="list-style-type: none"> 医療の提供体制や需要が異なる地域、及び規模や役割が異なる医療機関において、総合診療専門医が診療を行う疾病領域や果たしている役割を調査・分類すること。また、各地域・医療機関における総合診療専門医のニーズも調査・分析すること。 諸外国における、総合的な診療能力を有する医師の養成・確保、活躍の場について調査すること。その際、各国におけるプライマリ・ケアの定義とともに、プライマリ・ケアを実施している医師の特性、総合的な診療能力のリスキングの実態についても調査すること。 既に他の領域の専門性をもって勤務している医師や診療所の医師等を対象に、総合的な診療能力を広く修得することを目的とした効果的な研修や講習の方策について検討すること。 	6,250	1	3
	医師の働き方改革におけるC-2水準適用医師の技能研修実態の事後評価方法の検討のための研究 (AA-2)	<ul style="list-style-type: none"> C-2水準指定医療機関及び適用医師への調査による、C-2水準適用医師の一定期間における時間外・休日労働時間、総労働時間と、それらのうち、技能研修計画に記載された技能の修練に充てられた時間に関する評価・分析結果。 C-2水準指定医療機関及び適用医師への調査による、技能研修計画に記載された技能の修得状況（自己評価、研修プログラム責任者や指導者による評価、計画に記載された症例数の遂行見込み等）に関する評価・分析結果。 上記調査の評価・分析結果等による、技能研修計画に基づく分野ごとの研修実態の把握。 これらを踏まえた、基本19領域の各分野共通で利用することのできる、技能研修計画に基づく研修実態を把握するための調査票の設計等、事後評価の方法の提案。 	6,000	1	2
	こどもの医療費無償化による受診行動の変容や医療費の増減等の影響の検証のための研究 (AA-3)	<ul style="list-style-type: none"> 実際に窓口での負担がないグループとあるグループとの比較等による、受診行動の変化に関する分析結果。 <ul style="list-style-type: none"> こどもの窓口負担は自治体によって助成する内容や開始時期が異なることから、自治体別の比較を通じて、無償化特有の影響の有無等についても検証すること。 受診行動の変化により、抗菌薬等の薬剤処方動向やその後の健康状態等への影響についても分析を行うこと。 	10,000	1	1

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
統計情報総合研究事業 (AB)	International Classification of Health Interventions (ICHI)の国内普及の更なる促進に資する研究 (AB-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICHIに関するWHOの動向及び海外での活用検討状況の整理 ・ ICHIの国内での活用を視野に入れたWHOへの提言 ・ ICHIの国内での教育・普及のための研修会開催及び教育資料の作成 ・ ICHIの国内での活用方法の提案 ・ 日本に適したICHIの活用方法に沿った継続的な教育・普及のためのスキームの開発 ・ 国内での活用に資するICHIの日本語訳の基礎資料の作成 	3,500	1	2
	公的統計におけるNDB(National Database)データ併用可能性の検証のための研究 (AB-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通年の悉皆データを集積しているNDBの特性と、公的統計の中でも特に患者調査の特性を考慮した、統計データの精度向上及び医療行政政策への活用に有効な分析手法の提案 ・ NDBを用いた患者調査の統計データの精度向上等の方策を活用した、記入者負担軽減策等に関する令和8年患者調査の企画立案に資する具体的な提案 	6,000	1	2
	介護サービス施設・事業所調査の行政記録情報による代替可能性の検証のための調査研究 (AB-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護サービス施設・事業所調査の基本票における行政記録情報の代替可能性の検証及び評価 ・ 介護サービス施設・事業所調査の詳細票の調査項目(利用者、従事者)の行政記録情報の代替可能性の検証及び評価 <p>上記を踏まえ、基本票及び詳細票の調査項目の簡素化に向けた検討に必要な提言を行う。</p>	2,000	1	1

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	ICTを利用した医師国家試験の評価方法の開発と検証のための研究 (AC-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 試験の実施システム、評価システム、セキュリティシステム等の使用デバイス、試験実施環境について、我が国でCBT(Computer Based Testing)形式の国家試験の導入の実現に向けた課題抽出や必要な費用の試算を行う。 ・ 技能や態度の評価をするにあたり、CBT形式の国家試験実施および診療現場における評価を活用した臨床技能評価のそれぞれのメリットとデメリットの抽出を行う。 ・ 令和6年度版医師国家試験出題基準に基づく評価を実施し、医師国家試験における「必修の基本的事項」及び「医学総論」等の出題範囲の検証をする。 ・ 世界医学教育連盟(WFME)による各国や日本の医学部の認定状況、海外の医学部の教育状況の収集・整理を行い、外国の医学部を卒業した者に対する予備試験及び日本語診療能力調査の課題を整理する。 	20,000	1	3

臨床研究等ICT基盤構築・人工知能 実装研究事業 (AC)	ICTを基盤とする卒前卒後の臨床教育評価システムを利用した令和2年度臨床研修制度見直しに関する解析及びシームレスな医師養成を促進するための評価システム構築のための研究 (AC-2)	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度研修から適用されている臨床研修の到達目標・方略・評価の信頼性、妥当性等の分析。また、その分析結果に基づいた、現行の制度における課題と、今後に向けた政策提言。 卒前卒後のシームレスな医師養成を促進できる評価方法の検討とシステム構築。 侵襲的医行為も含めた臨床手技の習得度の適切な評価法の確立と有効性の検証。 	20,000	1	3
	医療機関におけるICT・ロボット化及びタスク・シフト/シェアを推進するための費用対効果の検証のための研究 (AC-3)	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関への調査により、診療プロセスにおけるICT・ロボット化等をすでに実現している業務と、その効果やコスト、必要な人的資源を明らかにする。 上記調査の結果をもとに、特定労務管理対象医療機関(年960時間を超える時間外・休日労働を医師に行わせることのできる医療機関)において、診療プロセスにおけるICT・ロボット化等を実装した際の、業務負荷の軽減と費用に係るシミュレーションを行い、費用対効果分析を実施する。 上記シミュレーション等の結果を踏まえて、医療機関内外における医療資源(特に人的資源)の適切な配置等を検討し、ICT・ロボット化等により各業務プロセスを改善が図れるような具体的な手法を提案する。 	20,000	1	2
	大規模言語モデル(LLM: Large Language Model)を活用した医薬品等の有効性・安全性評価のためのアウトカム抽出の方法論の確立に向けた研究 (AC-4)	<ul style="list-style-type: none"> 電子カルテに含まれる非コード化情報のうちテキスト情報から、LLMを用いてアウトカムを抽出する方法の確立(コード化情報と非コード化情報を組み合わせて抽出する場合を含む) 医薬品等の有効性・安全性評価に当たり、LLMの活用が効果的なアウトカムの具体的な事例の提示 LLMを活用した医薬品等の有効性・安全性評価に資するEarly consideration※の案の検討結果 <p>※Early considerationとは情報等が十分に収集されていない段階ではあるものの、イノベーションの実用化と革新的な医薬品等の開発促進の参考情報として、その時点における開発の方向性に係る考え方をまとめたもの。</p>	20,000	1	3
	リアルワールドデータの利活用に向けた「質」と「信頼性」の明確化に係る研究 (AC-5)	<ul style="list-style-type: none"> リアルワールドデータの利活用に際して、当該データが「適切」であることを客観的に示すための観点や指標について、「質」や「信頼性」などの言葉の使い方に留意しつつ、それぞれについて、データベース構築、データ解析、結果評価の3つの立場から概念を整理すること。 リアルワールドデータの生成から利用、評価までの一連の作業を想定して、上記で整理したデータの質や信頼性を確保する上で3つの立場からの留意すべき観点について、実施すべき具体的な手続きや、可能であれば達成すべき水準等を整理すること。 二次利用を目的としたデータベースについて、上記でまとめた各観点の状況を整理することによって、データベースの「質」や「信頼性」が目的に沿った水準を保持していることを客観的に説明するための資料の様式(項目や記載例を含む)を作成すること。 実際のデータベースに対して上記の様式を用いた評価を実施することにより、内容や記載例の適切性を検証すること。 上記を文書にまとめ、リアルワールドデータの利用目的に適した質や信頼性の確保についてのガイドライン案を作成すること。 	10,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
地球規模保健課題解決推進のための行政施策に関する研究事業 (BA)	国際保健分野における取り残された課題の分析及び我が国の国際保健施策の立案に資する研究 (BA-1)	<ul style="list-style-type: none"> WHO総会の決議や国際的枠組に関する事務局文書、WHOの事業予算計画、WHO総会のサイドイベントの情報等を元にした過去から現在までの国際保健取組の分析 過去に決議が採択されたが進捗が十分でない課題や残された課題等の同定 国際保健課題への取組の改善に寄与するために我が国がなし得る介入の検討 今後の国際会議等のイベントの整理と我が国の介入機会の同定 <p>上記を元に、WHO総会を中心とした今後の国際保健イベントで日本が効果的な介入を行うための国際保健施策立案の基礎資料を作成する。なお、その基礎資料では、日本が主導しうるWHO総会の決議案や枠組が同定され、その内容に関する提案がなされること。また、日本が戦略的・効果的に資金拠出及び関与しうる保健課題に関する提言も含むこと。</p>	5,000	1	2
	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)推進における新たな要素の同定と世界のUHC達成に向けた我が国の施策検討のための研究 (BA-2)	<ul style="list-style-type: none"> UHC達成に向けた議論における新たな要素の同定 同定された要素の関連分野における課題の整理 新たに同定された要素を踏まえた、世界のUHC達成に向けた我が国の施策の検討及び提案 	5,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
がん政策研究事業 (EA)	胃がん検診における現状の課題と新規検査導入に係る課題の整理のための研究 (EA-1)	<ul style="list-style-type: none"> 過去の胃内視鏡検査の導入経緯を踏まえた胃がん検診における課題の整理による、より適切な検診内容についての議論を行うための根拠の提示。 健康で無症状な集団に対するピロリ菌除菌の健康影響に関する知見の収集や医療経済評価、がん検診等への実装可能性も含めた運用上の課題と対応案の整理。 	5,000	1	3
	デジタル技術の活用によるがん医療の均てん化に資する研究 (EA-2)	<ul style="list-style-type: none"> がん診療施設間のコンサルテーションに係る実態把握及び課題の整理。 がん診療施設間で医療従事者同士がコンサルテーションを行うための、デジタル技術を活用した持続可能な体制に関する提言。 	5,000	1	2
	がん患者・経験者・家族等が抱える社会的課題の把握及び相談支援の提供に資する研究 (EA-3)	<ul style="list-style-type: none"> がんの罹患や治療が、がん患者・経験者・家族等の社会生活に与える影響を明らかにし、がん患者・経験者・家族等が抱える経済的課題をはじめとする社会的課題の実態把握と課題を整理する。 社会的課題に関する要因分析により、相談支援のスクリーニングツールの開発等、社会的課題を抱える人ががん相談支援センター等の既存の相談支援機関の支援を円滑に受けられるようにするための方法や体制についての検証を行う。 がん相談支援センター等における相談員に求められる知識や技術を整理し、相談員が活用できる資料等を開発する。 	5,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	健康日本21(第三次)アクションプランに資する適切な睡眠・休養取得のための評価・介入手法及び環境整備のための研究 (FA-1)	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣、睡眠環境、健康状態等の因子が、睡眠の質に与える影響を主観的な指標と客観的な指標を用いて的確に評価する手法を構築する。 自らの生活習慣等を振り返ることを可能にするツールとして、生活習慣等が睡眠に与える影響に基づくチェックボックス等を作成・更新する。 ウェアラブルデバイスやアプリケーションによる客観的な睡眠の評価の結果から、より適切な睡眠管理を目的としたこれらのデバイスの活用方法等の介入手法について検討し、実用可能性等を踏まえた提言を行う。 主に勤労世代が睡眠を含む休養を適切に行えるように、職場等における取組を整理するとともに、睡眠のプレセンティズム等への影響を明らかにし、職場等の環境改善に係る取組を促進する方策を体系的に整理するとともに優良事例を提示する。 	10,000	1	3
	我が国における公衆衛生的観点から求められる健康診査の制度及び項目の検討のための研究 (FA-2)	<ul style="list-style-type: none"> 制度に定められている既存の項目や健診に追加されることが望まれている項目等について、健康診査等指針に定められる健康診査が満たすべき18の要件に沿ってエビデンスを整理する。その際、18の要件を評価することに適した指標等についても検討を行う。 上記制度や項目が、ライフステージや性別等の異なる集団においてどのような健康上の観点で有用であるかを検証し、各集団に不足している制度等を整理する。 諸外国の健診制度も参考にして、ライフステージや性差の観点から不足している健診(検診)制度や健診項目等を整理する(ただし、既存の特定健康診査やがん検診等の個別の健診制度や健診項目の見直しは、本研究の対象としない)。 	6,000	1	2
	特定健康診査における問診・検査項目の必要性・妥当性の検証、及び新たな項目の検討のための研究 (FA-3)	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診の次回見直しに向けて、検証の結果を踏まえ、必要に応じて①問診項目、②検査項目の見直し案をエビデンスに基づいて提案する。 特定健診の目的や制度を踏まえて、現在実施している健診の問診項目・検査項目や健診頻度等に関するエビデンスを整理する。 特定健診の目的や制度を踏まえて、新たな健診項目や手技についてのエビデンスを整理し、ポピュレーションアプローチの視点から特定健診への導入可能性を評価する。 	10,000	1	3
	骨粗鬆症検診実施率・受診率向上に資する検診実施体制の見直しのための研究 (FA-4)	<ul style="list-style-type: none"> 骨粗鬆症の患者数の把握、骨粗鬆症による骨折の頻度、骨粗鬆症のリスク要因、自治体を実施する骨粗鬆症検診の受診率等の実態を把握する。 上述で把握した実態を踏まえて、科学的根拠に基づいた予防、検診手法について検討し、実現可能かつ効果的な骨粗鬆症検診の実施体制の提案及び骨粗鬆症予防マニュアルの改訂案を作成する。 改訂された骨粗鬆症予防マニュアルの普及の方策を検討する。 効果的な骨粗鬆症検診を展開している自治体について調査し、他の自治体が参考となる検診体制の好事例について整理する。 	8,000	1	3

<p>温泉利用による健康増進効果及び標準的なプログラムの開発に資する研究 (FA-5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 温泉療法による健康増進効果(生活習慣病予防、ロコモティブシンドローム等身体機能低下の改善等)に関する最新のエビデンスを整理する。 利用者毎の健康状態や利用目的(健康増進、リハビリ等)等に合わせた、安全な入浴方法などに配慮した、標準的なプログラム(温泉療養、温泉利用プログラム等)を開発する。 	8,000	1	3
<p>身体機能低下の評価及び身体機能低下のリスク要因とその予防法の確立に資する研究 (FA-6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既存の質問表等で用いられている質問事項の身体機能低下評価における科学的妥当性(ロコモ・フレイル診断の感度・特異度など)を示すもの。 国民健康・栄養調査等の既存の統計調査を活用した、国民全体の身体機能低下を表す評価指標の提案。 ロコモ・フレイル発症のリスクとなる個人の特性(性差、体格、年齢、生活習慣、併存症等)の特定。 上記の特性を踏まえた、ロコモ・フレイルの予防に資する身体活動・運動分野の介入手法の提案。 	8,000	2	3
<p>糖尿病等の生活習慣病における地域格差の把握とその是正に向けた対策推進のための研究 (FA-7)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全国規模のデータベース等の構築により、糖尿病をはじめとする生活習慣病(糖尿病に加え、高血圧、脂質異常症等)患者の都道府県毎の病態・治療状況およびその都道府県格差を把握する。(各都道府県で診療所を含む5施設以上、各施設10人以上を目安とし、地域間格差を検討できる数の登録が望まれる。) 格差是正のための介入を提案・実施し、その介入に伴う各施設での治療状況の改善度を示す資料を提示する。 上記資料をもとに、糖尿病をはじめとする生活習慣病の診療の均てん化、地域格差改善、及び健康日本21(第三次)の糖尿病領域の目標達成のための提案を行う。 	7,000	1	3
<p>糖尿病等の生活習慣病の発症予防・重症化予防に向けた適切な健診受診後の早期介入のための研究 (FA-8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医療従事者(産業医を含む)が健診受診後の医療機関受診者に対して検査・治療及び生活習慣指導などの介入を適切に行えるようにするための、医療従事者を対象とした普及啓発資料を作成する(糖尿病、高血圧症、脂質異常症の各疾患に関して作成する。)。また、作成した資料を普及させる方法についての提案を行う。 関係学会が作成・公表している診療ガイドラインやかかりつけの医師から専門医への紹介基準等も踏まえた適切な治療に関する普及啓発の方策を提案する。 生活習慣病対策における予防と治療の連携にかかるその他の課題を把握するとともに、その解決のための具体的取組や、健康日本21(第三次)における目標達成のための具体的取組を提案する。 	10,000	1	3
<p>事業所特定給食施設における関係者間の連携による栄養管理の推進に向けた研究 (FA-9)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業所特定給食施設(約5千施設(令和3年度時点))を対象に、管理栄養士・栄養士と関係者が連携した栄養管理に関する実態把握を行う。その上で、事業所特定給食施設の施設長、保険者、受託事業者等が連携し、給食を含めた食環境の改善等により、利用者のやせ及び肥満の割合の減少などに取り組んでいる事例の収集及び文献レビューを行う。 上記文献レビュー等の結果から好事例を抽出した上で関係者へのヒアリングを実施し、事業所特定給食施設における効果的な栄養管理の推進に資する資料を作成する。 	6,000	1	2

循環器疾患・糖尿病等生活習慣病 対策総合研究事業 (FA)	統括的役割が期待される行政管理栄養士の自己評価尺度の開発のための研究 (FA-10)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政における保健職種等の統括的役割に関する先行研究のレビューを行い、行政管理栄養士に期待される統括的役割を検討する。 ・ 現に統括的役割を有する複数の行政管理栄養士を対象に、質的方法等により尺度案を作成する。さらに、尺度案の妥当性等を検証する。 ・ これらの結果を踏まえて、妥当性等が確保された自己評価尺度を開発する。 	6,000	1	2
	管理栄養士の社会的需要を見据えた管理栄養士養成施設における基礎学力向上と養成教育の効果的な連動に向けた研究 (FA-11)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理栄養士の社会的需要や多職種連携を通じた更なる活躍を見据え、管理栄養士養成施設(大学)を対象に、入試の種類、種別ごとの出題科目・定員数、入試結果、入試合格後・入学後のリメディアル教育(理数系科目、英語等)の状況について調査する。併せて、リメディアル教育を踏まえた、養成教育の充実策等について調査する。 ・ 諸外国の栄養系その他の自然科学系学部におけるリメディアル教育の状況について調査する。 ・ 養成施設の教員を対象に、養成施設の学生の基礎学力向上や養成教育の充実策の効果的な連動に向けた課題に関する調査を行う。 ・ これらの結果を整理した資料を作成する。 	8,000	1	1
	「日本人の食事摂取基準」を活用した食事のガイドの作成に資する研究 (FA-12)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸外国の公的な食品ベースのダイエタリーガイドラインの策定理論やその活用に関する研究について、文献等のレビューを実施し、我が国における食事のガイドとして示す対象特性を整理する。 ・ 「日本人の食事摂取基準(2025年版)」のエネルギー・栄養素の値を満たし、我が国の食文化や食習慣等を踏まえた摂取可能な食事について、国民健康・栄養調査等の食事調査データの解析により検討する。 ・ 上記の成果を踏まえ、対象特異性の食事摂取に関連する因子を定量的又は定性的に分類するとともに、対象特異性のガイドの普及啓発ツールとして、食事の状況をセルフチェックするための仕組みを構築する。 	6,850	1	2
	生活習慣の行動変容を促す効果的な保健指導のエビデンス創出に資する研究 (FA-13)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診・特定保健指導に係るデータを用いて、生活習慣の行動変容に効果的な保健指導を明らかにするために、個人の生活習慣や意欲(標準的な質問票等)、組織等の特性(各保険者における特定保健指導の提供体制等)別に、保健指導と腹囲及び体重の減少との関連を分析する。 ・ 特定保健指導の実施内容(実施者の手技・手法等)に関する質的調査を実施し、その結果を踏まえて、特定保健指導の効果的な保健指導の方策に係るエビデンスを整理する。 	9,400	1	1
	健康寿命延伸につながる地域・職域連携の推進のための研究 (FA-14)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の人口構造、社会環境の変化及び働き方の多様化等を見据えた、地域全体における地域・職域連携推進事業の実施における課題等を都道府県及び二次医療圏毎に設置されている地域・職域連携推進協議会等を対象にアンケート調査・分析等を行い、整理する。 ・ 調査を通じて、自治体における健康増進計画の目標値や健康指標の改善に向けて有効な地域・職域連携を活用している実態や推進状況をとらまとめ、ワークショップ等を通じて自治体実践できるよう提示する。 ・ 調査結果を踏まえ複数の市町村を選定した上で、当該市町村が主体となり、都道府県や二次医療圏の担当者も含めた地域・職域連携推進のための会議体を設置する等のモデル事業の実施と効果検証を行い、都道府県と管内市町村が連携した事業の展開方法を示す。 ・ 中長期的な変化及び上記の成果を踏まえ、地域・職域連携推進ガイドラインの見直しに向けた検討の観点・方向性を提示するとともに、これからの地域・職域連携の推進に資する知見等のとりまとめを行う。 	7,400	1	3

<p>第2期循環器病対策推進基本計画の中間評価の手法確立及び評価実施のための研究 (FA-15)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第2期循環器病対策推進基本計画の中間評価を行うための手法の確立 第2期循環器病対策基本計画の中間評価を実施するための臨床情報の収集 	9,000	1	2
<p>急性期脳卒中の診療提供体制を整備するための実態調査研究 (FA-16)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 急性期脳卒中で提供される治療の実態の把握と課題の抽出 急性期脳卒中診療を行う医療機関及び各地域における診療提供体制の実態の把握と課題の抽出 今後目指すべき急性期脳卒中診療提供体制についての、科学的根拠に基づいた提案 	7,000	1	2
<p>循環器病の救急医療現場における医療者間の連携推進のための研究 (FA-17)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 循環器病に関する全国のメディカルコントロール協議会のプロトコールの実態を示した資料 救急医療現場の連携推進のためのガイドブックの内容をふまえた循環器病に関するプロトコールの提案 	5,000	1	2
<p>心血管疾患の回復期以降の診療に求められる役割とそれをふまえた医療体制構築に係る現状把握のための指標を検討する研究 (FA-18)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 心血管疾患の回復期以降の診療の実態把握と課題の抽出 心血管疾患診療における目指すべき回復期以降の診療の機能について、科学的根拠に基づいた提案 心血管疾患の回復期や慢性期における医療体制構築に係る現状把握のための指標について、科学的根拠に基づいた提案 上記の臨床指標についての収集方法の確立 	10,000	1	2
<p>脳卒中診療において今後目指すべき回復期診療の検討及び回復期や維持期・生活期における診療体制の充実に資する臨床指標を確立させるための研究 (FA-19)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 脳卒中診療における病院間連携や、回復期病院で提供される医療提供体制についての、実態把握と課題の抽出 脳卒中の回復期以降の診療で今後目指すべき、病院機能や医療機関間連携についての、科学的根拠に基づいた提案 脳卒中の回復期や維持期・生活期における診療体制の現状を把握するための臨床指標の提案及びその臨床指標の収集方法の確立 	8,000	1	2
<p>口腔の健康と健康寿命やQOLとの関係性等の解明のための研究 (FA-20)</p>	<p>大規模なデータベース等を用いた解析、アンケート調査、文献レビューにより、</p> <ul style="list-style-type: none"> 中高年層を対象とした口腔の健康と健康寿命やQOLに関する影響について明らかにすること。なお、QOLの影響については、QOLの指標を用いた評価の可能性や課題等についても検討を行うこと。 上記の他、若年層の就労者にみられる歯科疾患(顎関節症、歯ぎしりを含む)とQOLや労働生産性に及ぼす影響等について検証すること。 	3,250	1	2

	新型コロナウイルス感染症流行が歯科口腔保健行動及び歯科疾患等に与えた影響の解明のための研究 (FA-21)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や小学校、中学校等における新型コロナウイルス感染症による中断・再開を含めたフッ化物洗口の実施状況の実態把握を行うとともに、学校保健統計調査等に基づく歯科疾患の罹患状況との関係性について検証・分析し、明らかにすること。 ・ 高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症による中断・再開を含めた訪問歯科診療等の状況や、高齢者のう蝕や歯周病、口腔機能低下等の歯科疾患の状況及び誤嚥性肺炎等の全身疾患の状況に係る実態調査あるいは関連する文献のレビューを行い、新型コロナウイルス感染症が与えた影響について明らかにすること。 ・ 新型コロナウイルス感染症流行の状況を踏まえた歯科口腔保健事業に係る自治体の実施判断やその感染対策の変化を収集・検証することにより、今後の新興・再興感染症流行に備えた歯科口腔保健施策を検討するための健康危機管理体制を提案すること。 	3,250	1	2
--	-------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	---	---

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
女性の健康の包括的支援政策研究事業 (FB)	月経に関連した女性の健康課題に係る公衆衛生学的分析及びその課題解決に向けた研究 (FB-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月経痛や月経前症候群／不快感障害等の健康課題に関して、症状の発生状況、好発年齢や増悪因子、併存疾患の頻度、将来の疾病発生リスク、日常生活への影響、対処・治療の手段等に関する国内外のエビデンスの収集・整理を行う。 ・ 上記内容についての患者並びに医療者の認知度の調査を行う。 ・ 上記で明らかになった課題の解決に必要な支援の方策を検討する際の基礎資料および普及啓発に利用できる資料を作成する。 	10,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	疾患別基盤研究分野における難病の医療水準の向上や患者の QOL 向上に資する研究 (FC-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国規模の疫学調査による患者の実態把握。 ・ 関連学会との連携体制の構築及び関連学会から承認された診断基準・重症度分類・診療ガイドライン等の作成や改訂。 ・ 良質かつ適切な医療の確保を目指す診療提供体制の構築。 ・ 小児・成人を一体的に研究・診療できる体制の構築。 ・ AMED研究を含めた関連研究との連携。 ・ 関連学会、医療従事者、患者及び国民への普及・啓発。 	1,500~3,500	10	2

難治性疾患政策研究事業 (FC)	領域別基盤研究分野における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究 (FC-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連学会との連携体制の構築及び関連学会から承認された診断基準・重症度分類・診療ガイドライン等の作成や改訂。 ・ 良質かつ適切な医療の確保を目指す診療提供体制の構築。 ・ 小児・成人を一体的に研究・診療できる体制の構築。 ・ 指定難病患者データベース等の各種データベース構築への協力。 ・ AMED研究を含めた関連研究との連携・取りまとめ。 ・ 国内外の診断・治療方法の開発状況及び国内の治療成績の改善状況の把握。 ・ 関連学会、医療従事者、患者及び国民への普及・啓発。 	(研究規模A) 6,000～8,000 (研究規模B) 10,000～ 14,000 (研究規模C) 15,000～ 22,000 (研究規模D) 24,000～ 28,000	12	3
	横断的政策研究分野における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究 (FC-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者の療養生活環境整備やQOL向上に資する成果。 ・ 良質かつ適切な医療の確保を目指す診療提供体制の構築。 ・ 小児・成人を一体的に研究・診療できる体制の構築。 ・ AMED研究を含む関連研究との連携・取りまとめ。 ・ 関連学会、医療従事者、患者及び国民への普及・啓発。 	8,000～12,000	2	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
腎疾患政策研究事業 (FD)	データベース等を活用した慢性腎臓病の診療実態の把握に資する研究 (FD-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本におけるCKDの診療実態に関するデータベース等の構築と、最新の診療実態の検証。 ・ 腎疾患に関連するガイドラインが推奨する治療の遵守率を評価する方法論の確立。 ・ CKD重症化予防と透析導入防止に向けたCKDの診療実態の評価のための指標の策定とその有用性の検証。 ・ データベースの持続的な運用及び利活用が可能となるシステムの構築と、データベース維持のための方策の提示。 	5,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	アレルギー疾患の診療・治療状況の実態把握のための研究 (FE-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「基本指針」に基づいた総合的なアレルギー疾患対策の進捗評価に有効な指標の作成 ・ 指標を活用した都道府県別の経時的なアレルギー疾患の診療・治療状況の効率的かつ適切な把握。 	9,500	1	3

免疫・アレルギー疾患政策研究事業 (FE)	季節性アレルギー性鼻炎の診療実態と経済的影響等の解明のための研究 (FE-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ NDBを用いた、治療実態の調査。 ・ 季節性アレルギー性鼻炎の最新の治療実態の調査、症状に伴う労働生産性の低下の実態調査、および医療費負担等の観点からの経済的な評価の実施。 ・ 各種アレルギーに関するガイドライン等の改訂に資するエビデンスの構築。 ・ 花粉症とその治療実態などについての普及啓発に資する資料(パンフレット等)の作成。 	9,000	1	2
	リウマチ医療提供体制の確保に資する研究 (FE-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ リウマチ診療における診療科間連携等に関する実態調査と課題整理。 ・ 課題解決のための戦略案の策定。 ・ リウマチ特有の健康課題に適合した診療科間連携による診療等に関するマニュアルの作成。 	7,500	1	2
	患者視点に立ったリウマチ疾患のアンメットメディカルニーズの「見える」化と社会実装に資する研究 (FE-4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ リウマチ疾患におけるアンメットニーズを充足するための取組を社会実装していく際の課題の整理 ・ 上記の課題に対応するための取組の提案 ・ 患者・一般市民が、リウマチ疾患に関して医療従事者や自治体の福祉サービス提供者等とコミュニケーションを円滑に進めるための患者向けの学習資料の作成 	6,000	1	1

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
移植医療基盤整備研究事業 (FF)	臓器提供に係る医療者教育に資する研究 (FF-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移植医療に関する教育目標の策定(医師の卒前、卒後、専門、生涯教育における知識および技術に係る目標、看護師の卒前、卒後、生涯教育における知識および技術等) ・ 教育資料等の開発(臓器・組織提供及び臓器・組織移植に係る教育プログラムや教材、移植医療を専門としない医療従事者に対する啓発や生涯教育に係る資料等の開発) 	10,000	1	3
	臍帯血移植体制の強化・効率化と移植成績向上のための研究 (FF-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 診療ガイドラインの改訂(臍帯血移植成績向上のための、よりよい臍帯血選択基準や合併症予防策等) ・ 質の高い臍帯血取得に資する資料等の開発(適切な提供候補者に対する効果的な説明のための動画と同意取得の書類の様式、手順等) ・ 公的さい血バンクが臍帯血を円滑にあっせんするための運営指針を作成 	10,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
-------	-------	---------	------------------	-----	-------------

慢性の痛み政策研究事業 (FG)	痛覚変調性疼痛患者への就労支援の推進に資する研究 (FG-1)	<ul style="list-style-type: none"> 痛覚変調性疼痛患者の社会的背景を含めた実態把握。 痛覚変調性疼痛による就労不能を中心とした社会参加困難の実態把握と、社会復帰へ向けた課題の明確化。 痛覚変調性疼痛患者の背景を考慮した企業・地域における対応策の提言、及び既存の就労支援マニュアル等と組み合わせた総合的な支援体制の構築。 	12,000	1	3
---------------------	------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------	---	---

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
長寿科学政策研究事業 (GA)	訪問系サービスにおけるLIFEの活用に向けた評価指標の開発に資する研究 (GA-1)	訪問系サービスにおけるLIFE活用に向けて以下を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> 訪問系サービスにおけるLIFEの活用に関する評価指標をサービス別に検討・開発する 検討・開発した指標について、訪問系サービスにおける活用に関して実証を行う 検討・開発した評価指標及び当該指標の実証の結果については、社会保障審議会 介護給付費分科会等に報告可能な報告書にとりまとめる 	16,000	1	3
	訪問看護サービスの安全管理に係る科学的エビデンスに基づく対策に資する研究 (GA-2)	<ul style="list-style-type: none"> 訪問看護における事故について網羅的な実態把握。 訪問看護における安全管理のエビデンスの整理。 関連学会等のコンセンサスに基づくエビデンスの提示、安全管理策の周知。 	9,500	1	2
	介護事業所における情報の安全管理措置の確立に向けた研究 (GA-3)	介護事業所で取り扱う情報に関する安全管理措置について事業所にとってわかりやすい表現で明確なガイドライン案を作成する。 作成したガイドライン案について、健康・医療・介護情報利活用検討会 介護情報利活用ワーキンググループ等に報告可能な報告書にとりまとめる。	10,000	1	1

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
認知症政策研究事業 (GB)	認知症医療の進展に伴う社会的課題への対応のための研究 (GB-1)	AMED研究等と連携し、新たな治療薬の開発やバイオマーカーの開発などの医学の進展に沿った診断治療体制の構築及び認知症研究を含む認知症施策の方向性について検討した報告書。	15,000	1	3
	認知症の有病率に影響を与える因子の解明のための調査研究 (GB-2)	認知症の有病率および将来推計に影響すると考察された要因および相関する指標等について前向き観察研究等の調査・分析の実施とその評価結果等の検討結果をとりまとめた報告書。	17,000	1	3
	効果的な認知症の診断後支援の確立に向けた調査研究 (GB-3)	<ul style="list-style-type: none"> 全国の認知症診療医療機関を対象とした診断後支援の実態調査の結果 家族等への理解促進・支援、及び本人への意思決定支援の効果の検証結果(国内外の先進事例の分析等) 全国の認知症診療医療機関などに周知するための、効果的な認知症の診断後支援の手引き 	12,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	障害福祉と医療の連携を促進するために必要な手法の開発のための研究 (GC-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者が医療機関を受診する際に求められる合理的配慮について、障害別に類型化する。 ・ 医療機関と障害福祉施設・障害福祉事業者との密接な連携を可能とする情報提供フォーマットを開発する。 ・ 地域において円滑な医療提供が促進されるよう関係部署への周知啓発を行う。 	12,000	1	3
	OJTとサービス管理責任者等研修が連動した効果的な人材育成の取組の実施に向けた研究 (GC-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス管理責任者等研修とOJTの効果的な連動方法及びOJTの効果的な実施方法の検討、及び実施マニュアル等の指導者がOJTを実施する際に参考となるツールの開発。 ・ OJTとの連動を踏まえた効果的なサービス管理責任者等研修の体系及び実施方法等についての課題整理・提言。 	6,000	1	3
	障害福祉サービス等事業者における高次脳機能障害者への支援の実態把握及び推進のための研究 (GC-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉サービス等事業者が高次脳機能障害者の支援ニーズを把握する方策や、多機関と有機的に連携する際の要点及び課題の明確化、及び課題解決に向けた提言。(特に移動年齢層における多機関との連携や社会資源の活用の方策や課題について課題解決に向けた検討を行うこと)。 ・ 厚生労働科学研究障害者対策総合研究事業「高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究(令和2～4年度)」で開発された支援者養成研修カリキュラム及びテキストについて、自立訓練事業(機能訓練)の観点も含めた検証の実施、及び認められた問題点の解決に向けた提言。 	12,000	1	2
	障害者ピアサポート研修の実施内容の検証及び更なる効果的な実施方法の確立に向けた研究 (GC-4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体や企画運営に携わった当事者・支援者、受講者等を対象とした、障害者ピアサポート研修制度導入後の実施状況の調査の実施、及び科目ごとの理解度や重要性、参加者の負担や必要な合理的配慮等を分析することによる、現行のカリキュラムについて見直しの必要性などの検証・検討の実施。 ・ 検討の結果を踏まえた、カリキュラムに見直しが必要な点についての改訂の方向性の提示。 ・ 合理的配慮の提供の観点も含めた、自治体が研修を実施する際に参考となるシラバス・標準テキストの改訂案の作成。 	12,000	1	2
	地域生活支援拠点等における地域移行を進めるための役割及び緊急時の対応における役割の明確化のための研究 (GC-5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域生活支援拠点等における、「緊急時」の定義や実際の緊急時対応事例、また「平時」の支援内容のニーズの調査・分析。 ・ 地域移行に向けた役割としての、入所施設や精神科病院等との連携や支援の内容についての調査・分析。 ・ 厚生労働科学研究障害者対策総合研究事業「地域生活支援拠点等におけるコーディネーターに求められる役割や業務等の明確化のための研究(令和5年度)」の調査結果も踏まえた、多機関を調整する役割を持つコーディネーターに求められる知識や技能についての評価・分析、及び人材育成に向けた基礎資料のとりまとめ。 ・ 地域生活支援拠点等における地域移行するための標準的な支援内容の確立。 	12,000	1	2

障害者政策総合研究事業
(GC)

<p>発達障害への地域支援に資する継続的な情報収集・活用方法・体制整備に向けた研究 (GC-6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害に関する国の調査研究についての現段階までの進捗確認、課題の抽出、及び発達障害支援施策の検討・評価。 今後の情報収集に関するデータベースの構築に資する資料の作成。 保険診療情報のナショナルデータベースのオープンデータや、各省庁で定期的に行っている発達障害に関するデータ等、既存の情報収集や活用の手法等の調査研究を通じた、今後の情報収集に関するデータベースの構築及び活用するための体制整備。 	<p>12,000</p>	<p>1</p>	<p>2</p>
<p>強度行動障害を有する知的障害・発達障害に関わる医療従事者向け研修プログラム開発に向けた研究 (GC-7)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働科学研究障害者対策総合研究事業「入院中の強度行動障害者への支援・介入の専門プログラムの整備と地域移行に資する研究(令和4～5年度)」の研究成果も踏まえた、強度行動障害に関する一般医療従事者と精神科医療従事者向けの研修プログラムとテキストを作成する。 作成した研修プログラムを一施設で実施し、強度行動障害に関わる医療者の育成を行う。 	<p>15,000</p>	<p>1</p>	<p>3</p>
<p>精神科医療機関における専門性の高い看護師の活動実態の把握及びその効果の解明のための研究 (GC-8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全国の精神科医療機関で働く専門性の高い看護師(精神看護専門看護師、精神科認定看護師)が院内及び各病棟において行っている活動の詳細(対象、時間、場所、方法、内容等)に関する全国的な傾向把握(1年目)。 上記のうち、明確に設定された基準に基づき選定した精神科医療機関における専門性の高い看護師の活動の詳細及びその効果の検証の実施(2～3年目)。 上記に関する事例集の作成及び周知(3年目)。 	<p>8,000</p>	<p>1</p>	<p>3</p>
<p>精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築における情報通信機器を用いた精神療法の活用に向けた研究 (GC-9)</p>	<ul style="list-style-type: none"> オンライン精神療法の実践を通じた、地域におけるオンライン精神療法の活用に係る課題の抽出、及び好事例を中心としたエビデンスの作成(オンライン精神療法の実施にあたっては、厚生労働省令和4年度障害者総合福祉推進事業「情報通信機器を用いた精神療法に係る指針」及び「オンライン診療の適切な実施に関する指針」(平成30年厚生労働省医政局長通知の別紙)を遵守すること。) 	<p>16,000</p>	<p>1</p>	<p>2</p>
<p>高次脳機能障害の診断に係る実態把握と課題の検討のための研究 (GC-10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高次脳機能障害と診断されている人を対象にした、年齢、性別、原因疾患、診断までの期間、診断した医療機関(診療科)、最初に相談をした場所、障害者手帳取得までの期間等の調査の実施、及び高次脳機能障害と診断されるまでの課題や障壁についての明確化。 上記結果を踏まえた、高次脳機能障害を適切に診断するために必要な医療体制や、課題を解決するために注力すべき対象等の明確化と対応策の検討。 	<p>15,000</p>	<p>1</p>	<p>2</p>
<p>口唇口蓋裂を含む育成医療対象の疾患の実態把握に資する研究 (GC-11)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 口唇口蓋裂にかかる実態把握(推定患者数、18歳以上で治療を要する人数等)。 育成医療の対象であるが、18歳以降障害を除去・軽減する治療を継続して行いうる、他疾患の知見の収集。 	<p>12,000</p>	<p>1</p>	<p>2</p>
<p>効果的かつ有効性の高い集団精神療法の施行と普及および効果検証のための研究 (GC-12)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 国際的に認知されている、認知行動療法の技法等を用いた集団精神療法のマニュアルに基づいた、集団療法の経験が少ない医療機関や保健所等でも使用できることを目的としたマニュアルの開発。 作成されたマニュアルに基づく集団精神療法の実施と、ランダム化比較デザインを用いた臨床評価に関する効果の検証。 治療者のための評価方法の開発、及び信頼性・妥当性の検証。 ウェブシステムによるコンサルテーション体制の構築と、評価方法を用いたフィードバックの有効性と有害事象の検討。 関連学会、精神科医療機関における関連職種への普及と啓発の実施。 	<p>15,000</p>	<p>1</p>	<p>2</p>

摂食障害に対する効率的かつ効果的な治療方法及び支援方法の開発に資する研究 (GC-13)	<ul style="list-style-type: none"> 摂食障害の入院治療における、入院期間の長期化や、入院中から退院後の生活までを含めた、スタッフ・支援者の負担に関する実態把握。 入院期間の短縮、及び医療者以外も含む多職種や支援者の負担軽減に資する方策の開発。 	15,000	1	2
ゲームに関連した生活障害等の問題、併存する疾患及びその対応等の実態把握に資する研究 (GC-14)	<ul style="list-style-type: none"> ゲームに関連した問題で治療を受けている、または相談に来ている人々の、実態、社会的背景、併存する疾患(精神科疾患等)、対応法の実態把握。 上記に関する文献レビュー、特に諸外国のエビデンスの集積。 18歳未満と18歳以上のゲームに関連した問題の相違点といった、小児と成人での実態やその対応法の相違の明確化。 	12,000	1	2
将来的な社会参加の実現に向けた補装具費支給のための研究 (GC-15)	<ul style="list-style-type: none"> 将来の就労や就学等の社会参加の実現に向けた補装具訓練実施マニュアルの作成。 介入の効果を示す資料の作成。 訓練中に必要となる完成用部品等に対する借受け制度の活用促進策の提言。 	18,000	1~2	3
障害者自立支援機器開発に携わる医療・福祉・工学分野の人材育成モデルの普及促進に資する研究 (GC-16)	<ul style="list-style-type: none"> 支援機器開発・利活用の人材育成プログラムの作成、及び関連団体の生涯教育プログラムや養成校向けの教育カリキュラム等に導入するための指針やマニュアル等の策定。 全国のモデル拠点を中心とした、支援機器開発・利活用の人材育成プログラムを受講した医療福祉専門職や開発者等が支援機器の開発や利活用を促進する活動や関連事業等に参画するための支援体制の構築。 関連団体等と連携した支援機器開発・利活用の人材育成プログラム及び支援体制の全国的な試行実装、及びその検証。 	55,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	腸管出血性大腸菌(EHEC)感染症等の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究 (HA-1)	<ul style="list-style-type: none"> 病原体の解析手法の手技の全国の地方衛生研究所への普及 より迅速で信頼性の高い検査体制を確立するためのMLVA法を中心とした病原体解析法の精度管理の仕組みの構築。 病原体情報を速やかに全国の行政機関で共有するための、現行のネットワークの強化方策の検討及びその実装。 EHEC以外の感染性胃腸炎起因菌の解析手法の検討 	12,000	1	3
	ヘリコバクター属菌の薬剤耐性の対策に資する研究 (HA-2)	<ul style="list-style-type: none"> ピロリ菌の薬剤耐性傾向に関するサーベイランスを既存の薬剤耐性(AMR)サーベイランスの枠組みにおいて継続的に分析する体制の検討。 ピロリ菌の薬剤感受性試験の標準化及び精度管理法の確立、標準株パネルの整備。 ヘリコバクター・ピロリ以外のヘリコバクター属菌の薬剤耐性の実態把握。 	10,000	1	3

新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 (HA)	環境中における薬剤耐性微生物及び抗微生物剤の調査法等の確立のための研究 (HA-3)	<ul style="list-style-type: none"> 環境中の薬剤耐性微生物及び薬剤耐性遺伝子の発生・伝播、環境中の抗微生物剤のヒト及び動物への影響を示した国内外の資料の収集、及びそれらのシステマティックレビューの実施。 環境中における薬剤耐性微生物、薬剤耐性遺伝子及び残留抗微生物剤がヒト及び動物に与える影響を評価するための動向調査・監視の調査法等及び研究手法の整理、及びその有効性、実行可能性等の比較検討。 環境水等の薬剤耐性微生物と環境・ヒト・動物由来の薬剤耐性微生物との関連性の検討。 河川等における薬剤耐性微生物及び残留抗微生物剤の状況を把握する調査法の開発、及びその調査法を用いたリスクアセスメントの実施。 	8,500	1	3
	梅毒をはじめとする性感染症に関する実態把握及び対策の確立に資する研究 (HA-4)	<ul style="list-style-type: none"> 国内外の知見を踏まえた、梅毒をはじめとする性感染症の実態調査の実施、及びその結果の解析、並びに課題の抽出ととりまとめ。 医療従事者を対象とした、性感染症の適切な診療に係る研修プログラムや研修資料の作成。 地方公共団体における性感染症に関連する啓発活動の実態調査の実施、及びその結果を踏まえた普及啓発プログラムの開発。 	7,500	1	3
	予防接種施策の推進及び評価に資する研究 (HA-5)	<ul style="list-style-type: none"> 新たに承認された又は将来的に承認される可能性があるワクチンにより予防される疾病の罹患率等の評価を速やかに実施するための、NDB等を活用した特定の疾病の有病率等の疫学情報の推計手法の開発 既に接種が行われているワクチンについて、予防接種記録とレセプト情報等を組み合わせたデータ等を用いて、有効性・安全性の継続的な評価や、経済的な評価を行う方法の開発 予防接種記録とレセプト情報等を組み合わせたデータ等に必要に応じて電子カルテ情報等から得られる情報を補完することによって、有害事象の発生頻度やワクチン接種との因果関係の評価検討する手法の開発 具体的な疾病又は実際のワクチンへの適用による上記の手法の妥当性の評価、手法の限界の明示、及びその解決策の提示 	15,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	エイズ予防指針に基づく対策の評価と推進のための研究 (HB-1)	<ul style="list-style-type: none"> 改正されたエイズ予防指針に基づくHIV/エイズ領域における課題に対する各種施策の評価、進捗状況の把握、課題抽出。 抽出された課題とこれまでの事業、研究及び各種ガイドラインとの関連性の整理、及び課題の解決策の提案。 次期改正へ向けた課題の整理と基礎資料の作成。 	15,000	1	3
	地域におけるMSMの薬物使用・HIV感染を予防する支援策・予防啓発活動の確立に向けた研究 (HB-2)	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い地域のMSMを対象としたメンタルヘルスや性行動等に関するアンケート調査の実施、及びその分析結果を踏まえたHIV感染予防策の開発、試行及び効果の評価。 薬物相談の専門機関(精神保健福祉センターなど)の職員、薬物使用の問題を抱えるMSM、HIV陽性者等へのインタビュー調査をふまえた薬物依存からの回復や薬物使用防止に効果的な支援策の開発、試行及び効果の評価。 薬物使用の問題を抱えるMSMやHIV陽性者、HIV診療機関、支援機関、行政機関のネットワークと連携体制の構築に向けた提言。 	12,000	1	3

エイズ対策政策研究事業 (HB)	HIV感染症の外来診療の提供体制の改善のための研究 (HB-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ HIV感染症の診療を行ったことがない医療機関及びHIV感染症の専門ではないがHIV感染症の診療を行っている医療機関の外来担当医師と看護師、薬局の薬剤師(抗HIV薬の処方経験の有無に関わらず)を対象としたHIV感染症の診療に対する意識や意欲、ニーズ、ハードルに関する調査の実施。 ・ 上記調査を踏まえたHIV感染症の外来診療を支援するために必要な事項の抽出。 ・ HIV感染症を専門としない医療従事者に対するHIV感染症の外来診療の支援体制の検討。 ・ 上記のためのICTやAIを活用した効果的なシステムの開発。 	15,000	1	3
	エイズ治療の地方ブロック拠点病院のない自治体における中核拠点病院の機能評価と体制整備に資する研究 (HB-4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の医療機関や介護施設等におけるHIV感染者の受入困難事例の収集等による地域医療や介護分野と連携する際に生じる課題の抽出。 ・ 中核拠点病院等の主催による医療従事者や介護施設職員等を対象とした、抽出された課題の共有と課題改善に資する研修会や意見交換会の実施。 ・ 中核拠点病院、エイズ治療拠点病院、地域医療機関、介護施設等のネットワークと連携体制の構築。 ・ 学会や講演等を通じた、構築した自治体モデルについての全国への発信。 	20,000	1	3
	HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発、及び診療体制の整備と均てん化のための研究 (HB-5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ HIV感染妊婦数、出産件数の全国調査による動向把握。 ・ HIV感染妊婦とその出生児の予後も含めた長期的な調査と症例集積。 ・ 医療従事者への調査によるHIV感染妊婦の診療や分娩における現状と課題の把握。 ・ 現状や課題をふまえた、医療体制整備に資するHIV感染妊婦における診療やHIV母子感染予防のためのガイドラインやマニュアルの評価、見直し。 ・ HIV感染症、梅毒等の性感染症やHIV感染妊婦等に関する知識の国民への普及啓発(SNSの利用やリーフレットの配布等、様々な情報提供手段を検討すること)。 	30,000	1	3
	国際的な基準によるエイズ対策の評価と改善のための研究 (HB-6)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国連共同エイズ計画(UNAIDS)が行う年次調査であるGlobal AIDS Monitoringの調査項目(HIV罹患率等の疫学推計や政策に関する調査等)から日本が報告すべき項目を選出し日本のエイズ対策の報告、エイズ対策改善に資する提言。 	8,000	1	3
	HIV陽性者に対する精神・心理的支援方策の開発、及びHIV医療と精神科医療の連携体制構築に資する研究 (HB-7)	<ul style="list-style-type: none"> ・ HIV陽性者の精神的・心理的状態の把握や精神科受診・カウンセリング利用のニーズや阻害要因の評価。 ・ HIV診療医や医療ソーシャルワーカー等への調査によるHIV医療と精神科医療との連携のニーズと課題抽出。 ・ 心理的問題を有するHIV感染者へ適切な受療行動を促す介入方法の開発。 ・ 精神科専門職や公認心理師、医療ソーシャルワーカー等がHIV感染者の心理的支援を行う際に必要なHIV感染症に関する知識の普及啓発方法の開発。 ・ 課題解決に資するHIV医療と精神科医療の連携モデルの構築。 	10,000	1	3
	ICTやAIを活用したHIV感染症や性感染症の検査受検を促進するための集学的研究 (HB-8)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検査受検の阻害要因を調査し、調査結果を踏まえICTやAI等を用いて効果的にHIV感染症及び性感染症の検査受検に結びつける方法の開発と検証 ・ 検査結果の伝達、説明や検査陽性時の医療機関への紹介における受検者の利便性の向上及び受療行動促進のための方法の開発と検証。 	15,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
肝炎等克服政策研究事業 (HC)	地域の実情に応じた肝疾患診療連携ネットワークの展開に資する研究 (HC-1)	<ul style="list-style-type: none"> 先行研究(令和3年度～令和5年度、ネットワーク社会における地域の特性に応じた肝疾患診療連携体制構築に資する研究)で構築したICTを活用した肝疾患診療連携ネットワークモデルを、医療資源が不足し、肝疾患専門医療機関へのアクセスが悪い地域を含め、選定した各地域において、その地域の実情に応じ展開するためのリーフレット等の資料作成 記載事項のエビデンスレベル(評価指標等の信頼性・妥当性、介入の効果等)を示す資料(研究班が作成した英文ないし和文の原著論文、研究班で収集した論文集等) 	10,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	NDB等を活用した病院薬剤師の確保に向けた業務の効率化と潜在薬剤師の活用に資する研究 (IA-1)	<ul style="list-style-type: none"> 自動調剤機器などの機械の活用の実態把握、対物業務の効率化の効果の検証結果。 薬剤師から薬剤師以外の者へのタスク・シフト/シェアの実態把握、業務の効率化の効果の検証結果。 海外の病院薬剤師の実態調査結果(役割、位置づけ、給料、不足等)。 潜在薬剤師数の推定及び病院薬剤師のキャリアパス調査の先行研究を踏まえた、潜在薬剤師の復帰支援の現状、効果的な支援方法に関する政策提言。 先行研究及び医師等の需給推計方法を踏まえた、NDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)等を活用した病院薬剤師数(病床数・病床機能別を含む)の将来需要の推計手法の開発。 	8,900	1	3
	病院薬剤師業務の向上に向けた評価指標の開発のための研究 (IA-2)	<ul style="list-style-type: none"> 病院薬剤師の介入による患者、他職種、医療安全等への利点の観点で病院薬剤師業務(※1)を評価するための、ストラクチャー・プロセス・アウトカム指標の開発、及び病院の機能別(病床数、病床機能別を含む)にその有用性を検証した結果。 ※1 第13回第8次医療計画等に関する検討会(令和4年8月25日)資料2で示された充実が求められる業務・役割を対象とする 厚生労働省医政局総務課予算事業で収集したタスク・シフト/シェアの取り組み事例や医師等へのアンケート調査等を通じて、患者、他職種、医療安全等への利点の観点で病院薬剤師業務(※2)を評価するための、ストラクチャー・プロセス・アウトカム指標の開発、及びその有用性を検証した結果。 ※2「現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について(医政発0930第16号 厚生労働省医政局長通知)」で医師から薬剤師へのタスク・シフト/シェアが可能な業務の具体例として示された業務等を対象とする 上記で作成・検証した評価指標等を活用して算出した病院の機能別(病床数・病床機能別を含む)に必要と考えられる薬剤師数。 	10,000	1	3

<p>医療安全的観点からの、医師の働き方改革に対応するための医師の勤務時間帯間引継ぎ体制の整備に資する研究 (IA-3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国医療機関における、入院患者に関する医師間(または医師—他職種間)の勤務帯間引継ぎの現状の把握(好事例の同定、引継ぎの阻害要因の同定を含む)。現状把握にあたっては、10施設以上の訪問調査を行うこと。また必要に応じて、構造化されたアンケート調査を実施すること。 ・ 特に引継ぎが重要である患者群等の同定、及び介入の優先順位についての知見の収集。 ・ 患者情報の引継ぎを標準化するためのツールであるI-PASSをはじめとする、効果的な引継ぎ方法およびその教育プログラム等に関する国内・国外の文献の網羅的なレビュー結果。 ・ 望ましい医師間引継ぎ体制(引継ぎの内容、引継ぎの形式、引継ぎを実施するための環境等)の提案。なお必要に応じて、医療機能別(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)、診療科の特性別(外科系、内科系等)、当直の形態別(単一診療科で当直する場合、複数診療科を代表して当直する場合)等に場合分けし、多様な医療現場で実現可能な方策を提案すること。 ・ 他職種(病棟看護師等)との情報共有方法、オンコール制とする場合の対応の整備、同定された引継ぎ阻害要因への対応策の提案。 ・ 提案された引継ぎ体制を医療機関に実装するためのツールや教育プログラムの開発、及びそれらを複数の医療機関で試行した結果。 	6,000	1	1
<p>診療所が行う外来・在宅診療における医療安全対策の現状・課題の把握のための研究 (IA-4)</p>	<p>本研究課題においては、以下の①から⑤すべての成果を求めることとする。</p> <p>①アンケート調査を通じた、在宅支援診療所や多様な事業者が関わる在宅医療実施施設におけるインシデントの内容(例:患者誤認、薬剤誤投与等)やインシデントの把握状況(把握方法や把握内容を含む)、把握したインシデントの活用方法、医療事故情報収集等事業への参加状況、従業者への医療安全教育の実施内容等の医療安全に関する実態の把握。</p> <p>②在宅医療で発生したインシデント等について、系統的に報告がなされ、改善に役立てられている国外のシステムについて複数の事例の調査を行うことによる、本邦においてインシデント報告・再発防止策が立案・実施される体制のモデル案の提案。</p> <p>③海外のプライマリ・ケアにおけるチームトレーニング等の医療安全教育や求められる医療安全上の基準、その他医療安全システムについての網羅的な調査を通じた、本邦での実施可能性についての質的検討。</p> <p>④診療所が行う外来・在宅診療において、他施設・他事業者との情報共有を安全に実施する際の要点の提示。</p> <p>⑤外来・在宅医療の医療安全文化調査等の医療安全を評価する尺度の作成、及び実際に測定することによるその妥当性の評価。</p>	8,000	1	1
<p>医療安全対策の普及と実装に向けた研究 (IA-5)</p>	<p>以下の①～③の項目すべてについて、成果を求めるものとする。</p> <p>①病床規模や機能を加味した医療機関類型別に、医療事故情報収集等事業、医療事故調査制度、その他医療安全に関する団体が発行した資料、診療ガイドライン等を参考としつつ、取り組むべき安全上の課題及び解決策について科学的に吟味し、個別具体的な課題(例:肺血栓塞栓症予防やカテーテル関連血流感染症予防、患者誤認予防等)について行った優先順位付け。また、科学的に対応方針が確立しているもののリストアップ(その際、リスト化した課題への安全対策について国内外の文献を網羅的に探索し、対策内容、推奨度、実装が望まれる状況が含まれた状態で整理を行うこと)。</p> <p>②リスト化した個別課題に対する医療安全対策について、国内の医療機関へのアンケート調査を通じた、対策の実装度・医療現場の実施率の測定。</p> <p>③実装が進んでいる安全対策や実装のばらつきのある医療安全対策についての、質的研究と量的研究を統合する混合研究法等を用いた促進因子および阻害因子(行動科学的な観点を含む)の同定。</p> <p>また、明らかにした促進・阻害要因を基にした実装戦略の開発、及び複数の医療機関への導入の試行を通じた、戦略の妥当性の検証。</p>	8,000	1	2

在宅医療における検体検査の質の確保に資するための研究 (IA-6)	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療におけるPOCTの使用実態や精度管理状況の把握と適切な精度管理についての提言。 在宅医療における検体採取から保管や搬送の実態把握と適切な検査検体の取扱いについての提言。 在宅における検体検査や検体採取に従事する多職種向けのチェック項目の策定 	3,500	1	1
医師確保計画の効果的な推進に向けた政策研究 (IA-7)	<ul style="list-style-type: none"> 各都道府県の医師確保計画の分析を通じた医師確保計画策定ガイドラインにおける課題の抽出、特に医師少数スポット等の地理的状況や医師派遣等の医師確保対策の実態及び無医地区等との関係性や概念を整理した上での医師少数スポットの設定に関する提案。 医師の勤務実態の可視化方法の検討と、医師偏在指標の算出に必要な医師の労働時間についての知見の提供。 	2,000	1	2
人口動態や地域の実情を踏まえたへき地や離島の医療の推進のための研究 (IA-8)	<ul style="list-style-type: none"> へき地診療所、へき地医療拠点病院等の実績や、離島を含めたへき地の医療アクセスなど、へき地の医療提供体制構築の現状把握・検討。 無医地区等におけるICTの活用や必要とされる専門診療科等の現状把握及び課題の抽出・検討。 「へき地の医療提供体制構築に係る現状把握のための指標例」に関し、第8次医療計画の中間見直しに向けたより効果的な指標の作成。 今後の人口動態や住民ニーズ等を踏まえた持続可能な質の高いへき地の医療提供体制を構築するための方策への提言。 	6,800	1	3
地域の実情に応じた医療提供体制の構築を推進するための政策研究 (IA-9)	<p>本研究課題においては、以下の全ての成果を求めることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 都道府県が策定した第8次医療計画の内容を含めた医療計画の分析、中間見直しにあたっての課題抽出、及び今後の医療計画を推進し実行するための対策の提案 地域医療構想の議論も踏まえた基準病床数の算定方法の提案 病床機能報告・外来機能報告等の内容の分析、調査項目及び活用方法の提案 大規模な感染症流行時における短期的な医療需要への対応や、平時からの感染症に対する備えとしての取組も含めた行政や医療機関等の連携体制の整理 令和7年以降の中長期の医療需要の推計、及び整備すべき医療提供体制の提案 多様な地域における医療機能の分化・連携を推進するための分析及び方向性の提案 都道府県担当者や地域医療構想アドバイザーを対象とした、医療計画・地域医療構想の議論活性化のための研修プログラムの開発 医療機関における機能転換の推進に資する支援内容の提案 医療計画等の議論において活用可能な地域医療支援病院に関するDPC(診療群分類包括評価)データ・NDB(レセプト情報・特定健診等情報データベース)データ等の分析結果の提示 	27,000	1	3
地域医療基盤開発推進研究事業 (IA)	<p>救急救命士が行う業務の質の向上に資する研究 (IA-10)</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去の検討において、追加の検証を含め引き続き検討が必要とされた処置(幸帽児に対する卵膜の用手的破膜等)等の、救急救命処置の追加・除外・見直しを検討する上で必要な項目(想定される処置の頻度、実施の判断や手技の難易度、必要な教育、医師からの指示の受け方、費用対効果等)についての根拠となる資料の作成(作成にあたっては、文献的調査や現場からのヒアリング等を実施すること)。 過去の検討や、救急医療の現場における医療関係職種の在り方に関する検討会ワーキンググループにおいて必要と判断された臨床研究についての研究デザインの策定や実施体制に関する検討、及びその体制構築と実施。 	3,900	1	2

<p>最新の知見を踏まえた医療機関における院内感染対策の質向上のための研究 (IA-11)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最新の知見を踏まえた、医療機関向けの既存の感染対策のガイドラインにおける改定が必要な部分の提示。 協定締結医療機関が新興感染症の発生・まん延時に協定に沿った対応を行うために利用可能な具体的な感染対策のガイドラインの作成(なお、ガイドラインの中に、中小規模の医療機関においても実行可能な実践的な訓練のマニュアルを含むこと)。 感染症の流行状況に応じた、医療機関の院内感染対策に資する提言、及び基礎資料の作成。 	3,500	1	3
<p>医療機関から在宅へ円滑に移行するための適切な栄養管理に関する実態把握及び体制整備へ向けた課題探索のための研究 (IA-12)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 在宅療養者に対する訪問栄養食事指導の実態の把握、及び文献レビュー等を通じた、効果的な訪問栄養食事指導等に係る体制整備に資する事例の収集。 質問紙調査等による、患者が入院医療から在宅療養へ円滑に移行するための適切な栄養管理に必要な事項のとりまとめ、及び体制整備を進める上での課題の把握・検討。 関係職種へのヒアリング等による、在宅療養者に対して適切に訪問栄養食事指導を提供する体制整備を進めるために必要な事項の明確化。 	5,000	1	2
<p>効率的な救急医療提供体制の構築に資する研究 (IA-13)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全国の3次及び2次救急医療機関を対象とした、救急患者の搬送から入院、転退院までのフローを細かく段階分けした上での、どの段階がボトルネックとなっているかの定性的・定量的な分析、及び課題とその解決策の提示。 救急患者の受け入れに際しての、医療機関側の意思決定に関連する項目の抽出、及び安定的に高い応需率を維持する上での課題とその解決策の提示。 救急外来滞在時間に関連する因子(傷病者の重症度、受診時間帯、救急外来で実施する検査、人員配置等)とその影響についての検討。 DPCデータ等を活用した、救急入院患者の在院期間、特に、患者が転退院可能な状態となってから実際に転退院するまでの日数に関連する因子(診断名、患者の年齢、ADLの変化、社会的背景、医療機関の連携体制(連絡・連携手法、MSWの人員配置、搬送手段を含む)等)とその影響についてのとりまとめ。特に、高齢者救急患者や重症外傷患者、心肺停止蘇生後など急性期治療後の予後不良患者に関しての、個々の疾患群において転退院調整時の課題の抽出、及び改善するために医療機関に必要な機能や地域におけるシステムについての提案。 救急患者の転退院の実態調査、及び急性期転院を進める上での課題の抽出及びその類型化。 上記5つを踏まえた、それぞれ改善に向けての政策提言と議論の根拠となる資料の作成。 救急外来滞在時間や救急患者の在院日数が短い医療機関の特徴や取り組み等を、他の医療機関に展開するための資料(事例集等)の作成。 	5,000	1	3
<p>共用試験の公的化を踏まえた歯科医師国家試験出題基準の改定に向けた研究 (IA-14)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 診療参加型臨床実習での学修内容の分析 共用試験(OBT、OSCE)、歯科医師国家試験の臨床に関する出題の分析 基礎分野の出題の内容・方法の検討 今後の歯科医師国家試験の実施方法等について提言 歯科医師国家試験制度改善部会及び出題基準の改定に必要な資料作成 	2,100	1	2

<p>効率的な看護業務推進の評価に係る実態把握のための研究 (IA-15)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に実施した「効率的な看護業務の推進に向けた実態調査研究」と比較可能な形式による各医療機関の属性(医療機関の所在地別、病床機能区分別等)に応じた看護業務の実態把握の調査結果(看護職の職位別等の対象者に対するタイムスタディによる調査結果) 平成30年度に実施した「効率的な看護業務の推進に向けた実態調査研究」と比較可能な形式による各医療機関の属性に応じた業務効率化及びタスク・シフト/シェアに係る看護職員等の意識調査結果(病棟管理者以外の看護職を対象) 平成30年度に実施した「効率的な看護業務の推進に向けた実態調査研究」の結果と比較し、看護業務の効率化及びタスク・シフト/シェアが進んだ業務/進まない業務の明確化に係る結果及び進んだ/進まない要因の分析に係る結果 看護業務効率化及びタスク・シフト/シェアに資する取組方法(メリット、デメリット含む)の提案、各医療機関等で看護業務効率化及びタスク・シフト/シェアの取組が推進できるような媒体作成 	8,000	1	2
<p>死因究明等に関する多職種連携の推進方策の検討のための研究 (IA-16)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全国の法医学教室等における、医師及び医師以外の職員のそれぞれの業務範囲、必要な技術、勤務形態の実態調査を通じた、医師以外の職員を活用している好事例の収集・とりまとめ。 上記調査結果を踏まえた、「医師以外の職員の活用状況と解剖等実施状況の関係性の分析」「雇用の拡大と女性の再就職支援につなげた人材不足対策の可能性」についての検討、及びその結果のとりまとめ。 上記調査結果を受けた、死因究明等を目的とした法医解剖や各種検査において、特に重要な役割を担っていると考えられる臨床検査技師への必要な研修・教育内容、法医学分野での今後の確保策についての検討、及びその結果のとりまとめ。 病理診断科の専攻医が実施可能な法医解剖の範囲と、病理診断科の専攻医が法医解剖を実施するにあたっての事例の収集、及び臨床検査技師等の職員が適切にサポートをする方法等についての検討。 令和9年度に実施予定の死因究明等推進計画の見直しに資する基礎資料となる提言のとりまとめ。 	2,200	1	3
<p>医師養成過程を通じた医師偏在対策の検証のための研究 (IA-17)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域枠等(自治医科大学を含む)について、従事要件の年限修了後、医師少数の地域に継続して勤務する医師の割合の明確化、及び医師少数の地域に継続勤務する要因の同定。 各大学医学部出身者について、臨床医としての勤務地の調査・分析(地図などでわかりやすく示すこと。またその際、出身大学・出身地を切り口とした分析も行うこと)。 医師が不足する地域で勤務する医師について、当該地域で勤務する理由等についての調査・分析(その際、医師が多数の地域で勤務する医師との比較も行うこと)。 臨床研修修了後に新専門医制度の基本領域専攻医に進まない医師の数・割合の経年変化の調査・分析、及びそれらの医師が進んだ診療科・業務の調査・分析。 臨床研修について、医師多数県、医師少数県別に当該都道府県を選んだ理由についての調査及びその結果のとりまとめ。 	2,200	1	3

医療関係職種(あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師、柔道整復師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、義肢装具士)のうち、①あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師、柔道整復師のいずれかの職種は必須とし、その他の職種は②人体に触れる機会が多い、③人体に触れる機会が少ない、④その他遠隔授業を実施する上で、②及び③以外で職種の特性を踏まえた適切な切り口で分類し、①～④の分類毎に好事例をとりまとめること(④は必須としない)	<ul style="list-style-type: none"> 医療関係職種の養成校における遠隔授業に対する、職能団体の考え方や態度の把握 遠隔授業の事例の収集、医療関係職種ごとの適切な遠隔授業について検討・整理、及び好事例のとりまとめ※ ※ 医療関係職種(あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師、柔道整復師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、義肢装具士)のうち、①あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師、柔道整復師のいずれかの職種は必須とし、その他の職種は②人体に触れる機会が多い、③人体に触れる機会が少ない、④その他遠隔授業を実施する上で、②及び③以外で職種の特性を踏まえた適切な切り口で分類し、①～④の分類毎に好事例をとりまとめること(④は必須としない) 医療分野及び他分野での第三者評価を実施している関係団体、養成校の実態の把握 医療関係職種の養成校に適した評価内容及び評価実施団体の体制等の整理 	2,200	1	2
令和2年度の医師臨床研修制度の見直しの影響の評価のための研究 (IA-19)	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度研修から適用されている、見直し後の到達目標・方略・評価が、研修医の基本的な診療能力の上昇に寄与した程度の分析及びとりまとめ。 次回の制度見直しに必要な観点の提言。 	2,200	1	3
セルフメディケーション推進による医療費の増減等を含めた効果測定法の基盤整備のための研究 (IA-20)	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が効果的にセルフメディケーションへの行動変容を起こすための啓発プログラムの策定 本プログラムの実証による効果のエビデンス(行動変容に対するインセンティブ付与等の具体的な政策・妥当性、介入の効果等)を示す資料(研究班が作成した原著論文、研究班で収集した論文集等) 	6,000	1	3
効果的・効率的な医療等の提供に資する情報連携項目の探索および情報利活用のための研究 (IA-21)	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関の受診等により生じる医療情報のうち、効果的・効率的な医療等の提供を行う上で有効な情報項目についての標準化とその仕様案、及び利活用の仕組みの作成。 仕組み等の実現にあたっての制度面等の課題整理・対応策の検討、及び提案の実施。 	6,500	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
労働安全衛生総合研究事業 (JA)	諸外国における外国人労働者への安全衛生教育の実施手法及び我が国での実効可能性とその検証に関する研究 (JA-1)	<ul style="list-style-type: none"> 技能実習生をはじめとした外国人労働者への効率的・効果的な安全衛生教育に有効な手法の提示 危険の見える化のため、外国人労働者も含めた全ての労働者向けのピクトグラム安全表示の開発 	10,000	1	3
	デジタル技術を活用した転倒災害防止手法の確立のための研究 (JA-2)	<ul style="list-style-type: none"> 労働者個人の姿勢計測データから転倒及び怪我のリスクを定量化できるような、事業場でも活用可能な手法の提示 	4,200	1	3
	安全衛生対策に活用可能な先進のデジタル技術やこれを用いた管理手法の実態及び導入に当たっての課題の検討のための研究 (JA-3)	<ul style="list-style-type: none"> 安全衛生分野で活用可能なデジタル技術マップの作成 現場で安全衛生管理にデジタル技術を導入する際の課題や基準の提示 デジタル技術の安全衛生分野での活用促進に対応するための法令改正に必要な基礎資料の提示 	4,900	1	3

<p>個人事業者等向け職業性ストレス簡易調査票及び評価基準等の開発と、セルフケア等への効果的な活用方策の確立に向けた研究 (JA-4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職業性ストレス簡易調査票(57項目、23項目)を参考に、Job Demands-Control-Support職業性ストレスモデル(職業性ストレスは仕事の要求度と仕事のコントロールという2つの要素の組み合わせによって構成されるとするモデル)に基づく個人事業者等向けの職業性ストレス簡易調査票の開発 個人事業者等向けの職業性ストレス簡易調査票における高ストレス者の評価方法及び評価基準の作成 個人事業者等の働く職場や契約上の裁量等の業務環境の違いを踏まえ、個人事業者等が調査票の結果を自身で理解・活用できるような個人事業者等向け業務改善支援に資する支援ツール(チェックリスト等)等の作成 	9,100	1	3
<p>腰痛予防に効果的な対策の推進のための研究 (JA-5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 重量物取扱い作業における腰痛災害の発生要因及び発荷主が可能な腰痛予防対策についての基礎資料(文献レビューによる発生要因・予防対策の効果等に関するエビデンスの収集・整理、アンケート調査による予防対策の現状把握、介入研究による予防対策の効果の検証など)をとりまとめる。 	11,300	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	<p>畜水産食品中の動物用医薬品等の新たな評価管理手法の導入のための研究 (KA-1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 海外における畜水産食品を対象とした短期暴露評価の取組みに関する情報の収集 海外の取組みを踏まえた、必要なデータセットや考え方の整理、及びこれらに基づく評価ガイダンス案の作成 	4,000	1	3
	<p>香料を含む食品添加物の安全性確保に向けた遺伝毒性等の健康影響評価手法の開発・標準化に資する研究 (KA-2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 香料を含む食品添加物の安全性を階層的に評価するために必要な精緻なin silico評価系の確立 in silicoを含む遺伝毒性評価系など短期に発がん性を推測できる試験系の開発と、その有用性・妥当性を示すデータ 	30,000	1	3
	<p>新たなバイオテクノロジーを用いて得られた食品の安全性確保とリスクコミュニケーション推進のための研究 (KA-3)</p>	<p>新たなバイオテクノロジーを利用して開発された食品の安全性管理において、食品衛生や社会的受容等の観点から考慮する必要のある項目や、その項目に係る検討において有用な手法、また、同食品の諸外国における取扱いの検討状況や、リスクコミュニケーションに係る知見の収集によって、国際的協調や消費者の意識を踏まえた安全性管理手法の開発に資する基礎的知見を得る。</p>	35,000	1	3
	<p>食品中の自然毒等のリスク管理のための研究 (KA-4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 雑種ふぐの発生状況、毒化状況及び流通状況の把握 国際動向を踏まえた麻痺性貝毒の機器分析法の確立 植物性自然毒(きのこ含む)の食中毒の発生動向の分析による効果的な防止策の提案 汎用性の高い植物性自然毒(きのこ)の分析法・同定法の確立 動物性自然毒、植物性自然毒(きのこ含む)のリスクプロファイルの更新、消費者に対する効果的な情報提供方法の提案 	32,000	1	3

食品の安全確保推進研究事業 (KA)	食中毒原因細菌の検査法の整備及び食中毒対策の推進に資する研究 (KA-5)	<ul style="list-style-type: none"> 食中毒菌の汚染状況の実態把握 食中毒発生の重要な要因となる菌の特性や食品中での挙動の把握、及びその効果的な制御方法の確立 検査法確立による食中毒発生時の原因食品等の迅速な把握、流通食品の安全性確保による食中毒予防の方策の提案 	22,000	1	3
	国際的な基準に基づくHACCPシステムの導入に資する研究 (KA-6)	<ul style="list-style-type: none"> 各種食品の危害要因やその管理措置、管理措置の妥当性確認の方法、HACCPシステムの検証方法及び実施例等についてのデータベースの作成と、それらを簡便に参照するためのツール類の開発 食品等事業者がHACCPシステムの構築やその維持管理について学習するための実践的な教育プログラムの開発 <p>※ 本研究で開発されたツール類、教育資材等については、厚生労働省ホームページ上で広く公開することを想定しているため、事後のメンテナンス等を厚生労働省が簡便に行える形で成果物を提供すること。</p> <p>※ 教育プログラムの開発においては、国、自治体、民間機関等が開催する食品等事業者向けの講習会等でのまま活用できる実用的かつ実践的な内容とすること。</p>	10,000~15,000	2	3
	野生鳥獣の食用利用に関わるリスク分析に資する研究 (KA-7)	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣由来食肉の保有する病原体に関する知見の収集、及び食中毒や健康被害の発生防止対策のための科学的な根拠の提供 研究により得られたデータ・知見を踏まえ、消費者や関係事業者に対する分かりやすい形での情報提供手法の提案 現場の実態に対応したHACCPに沿った衛生管理手法の確立(衛生管理ガイドライン及びガイドラインに基づくHACCP手引書改良のための根拠の提供) 	26,000	1	3
	ワンヘルス・アプローチに基づく食品由来薬剤耐性菌のサーベイランスと伝播機序解明のための研究 (KA-8)	<ul style="list-style-type: none"> 「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン2023-2027」に従い、食品の分野において薬剤耐性菌の動向を把握し、ワンヘルス動向調査年次報告書やWHOに報告可能なデータの収集 食品由来耐性菌の動向を把握し、薬剤耐性の発生・伝播機序を解明するための、食品等からの菌株分離、薬剤感受性試験、ゲノム解析等の実施 	44,000	1	3
	新型コロナウイルス感染症拡大収束後の食品等事業者の新たな営業形態にも対応した食品防御の推進のための研究 (KA-9)	<ul style="list-style-type: none"> 人的・金銭的資源の供給状況に応じた効率的な従業員配置や資金等の投入を考慮した食品防御対策ガイドラインの改訂(案)の提示 飲食店や食品製造業等の事業者が用いるためのチェックリスト(案)の作成 大規模イベントに向けたガイドラインの利用普及のための方策の提案 	17,000	1	3
	食品安全行政の推進に資する研究分野における若手育成のための研究 (KA-10)	<ul style="list-style-type: none"> 食品安全に関する研究分野のうち、食品衛生監視業務に係る技術開発など、科学に基づいた、広く食品安全行政の推進に資する研究成果。 <p>※ 厚生労働省が行う食品衛生監視業務と、食品安全委員会が実施するリスク評価、(令和6年度以降)消費者庁が実施する食品衛生基準業務及び農林水産省が実施する農林水産物の生産段階におけるリスク管理業務等、他省庁が行う業務との分担については、厚生労働省の「食品」ホームページ等を参照すること。また、厚生労働科学研究も含め、申請課題に関する先行研究を十分に調査した上で申請すること。</p>	2,000~3,000	5	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	ワクチン等の品質確保を目的とした国家検定の最適化と国際統合化のための研究 (KC-1)	<ul style="list-style-type: none"> 国家検定における動物試験に係る3R(Refinement、Reduction、Replacement)の推進策(代替試験法の開発等)の検討・提言 書面審査を中心とした検定手法及びその対象品目の検討・提言 海外の国家検定制度やガイドライン、主要な国際会議の議論等の最新の知見の収集 その他現行の国家検定制度における課題の抽出及び対応策の検討・提言 	7,000	1	3
	危険ドラッグ等の乱用薬物に関する最新の分析情報の収集及び危害影響予測のための研究 (KC-2)	<ul style="list-style-type: none"> 危険ドラッグの流通実態等を踏まえた、具体的な化合物や植物を指定薬物として指定する際に考えられる分析法上の問題点の整理、及びこれら問題点についての新たな科学的な解決法の提示。 指定薬物に係る規制を検討するために、流通実態を踏まえた濫用の拡大が懸念される化合物に関する危害発生の可能性等にかかる必要な評価手法の開発、及びその検証のための科学的データの取得、並びにその有効性等についての検証。 	8,200	1	3
	新興・再興感染症流行時の血液製剤の安全性確保のための研究 (KC-3)	<ul style="list-style-type: none"> 新興・再興感染症に係る国内外の知見の収集、及びその検出方法や感染経路などを把握することによるリスクの評価、並びに国内流行時の血液製剤の安全対策を検討するための基礎資料の作成。 上記の基礎資料を活用した、血液製剤における具体的な安全対策手法の提案。 上記のエビデンスレベルを示す資料(研究班が作成した原著論文、研究班で収集した論文集等)。 	7,000	1	2
	若年層に対する献血推進方策と血液製剤の需要予測に資する研究 (KC-4)	<ul style="list-style-type: none"> 血液製剤の安定供給が確保されるための、献血に関する効果的な普及啓発を促進する方法の検討・提示。 献血推進に関する中期目標「献血推進2025」の評価に繋がる需給予測の基礎資料の作成。 国内外の血液製剤に係る研究開発の動向および適正使用の状況についての情報収集、及び需給予測の参考となる情報のとりまとめ。 上記のエビデンスレベルを示す資料(研究班が作成した原著論文、研究班で収集した論文集等) 	9,000	1	2
	リアルワールドデータの活用に向けた製造販売後調査の手法の確立に向けた研究 (KC-5)	<ul style="list-style-type: none"> 日米欧における医療情報データベースから得られたエビデンスの規制判断への活用事例の整理。 製造販売後調査の手法ごとの長所や限界、及びそれぞれの有用な活用場面等の明確化。 上記に基づき、個々の医薬品の特性やリサーチクエスチョンに応じた、データベース調査を含めた適切な調査手法を選択するための考え方の整理。 	5,000	1	3

<p>医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業 (KC)</p>	<p>個別品目によらないリスクに応じた信頼性調査システム構築に資する研究 (KC-6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外の信頼性調査の仕組み・課題等の分析・整理。 ・ 申請件数が多いがん領域の医薬品に係る治験をモデルとした、企業や医療機関が自主的に実施すべき治験品質の維持・向上・改善に関するPDCAサイクルの要件及び懸念事項を発生させない環境作りに必要な要件の整理。また、整理した要件をがん領域以外の承認申請業務や再審査申請業務に対して適用した場合の課題の整理。 ・ 当該要件を満たす申請数や試験実施数が多い企業や医療機関に対する、リスクに応じた調査手法の導入可能性の検討。また、懸念事項が認められた場合の対応の検討。 ・ 治験審査委員会のセントラル化、審査手続きの合理化等を進めることによる、信頼性調査時に確認すべき企業及び医療機関の根拠資料の削減の可能性の検討及び課題の整理 ・ ステークホルダーからのフィードバックも得た上での、課題の抽出と対策の検討、及びそれらのとりまとめ。 	5,000	1	3
	<p>要指導医薬品及び一般用医薬品の販売における薬剤師等の資質向上のための研究 (KC-7)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤師による要指導医薬品等の販売実態を踏まえた、要指導医薬品の取扱が少ない要因を含むOTC医薬品販売における課題の分析 ・ デジタル化を踏まえた販売制度における専門家の適切な関与の方法、及び求められる資質の検討 ・ 適正なOTC医薬品の販売のために薬剤師等に求められる資質の検討及び資質向上に向けた対応策の検討 ・ 薬剤師等の資質向上に向けた対応策の実施及び評価 	2,400	1	2
	<p>国内における調剤業務の効率化に係る方策の有用性・安全性の評価・検討のための研究 (KC-8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 箱出し調剤についての海外の状況の調査、及び日本で導入する場合の課題の整理。 ・ 調剤機器の導入による安全性の調査、及びその効率化について医療経済の観点も含めた分析・評価。 ・ 調剤行為を行程毎に分析することによる、薬剤師の監督の下で非薬剤師による調剤補助が可能な範囲・要件の明確化。 	5,000	1	2
	<p>専門薬剤師の機能評価のための研究 (KC-9)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門医療機関連携薬局が医療機関や他の薬局と連携することによる患者の安全性、服薬コンプライアンス向上等の効果の検証 ・ 専門薬剤師の服薬指導、服薬フォローアップ等による、患者の服薬コンプライアンス向上等の効果の検証 	2,400	1	2
	<p>薬剤師の対人業務の評価指標の開発のための研究 (KC-10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬局薬剤師の対人業務の実態把握と患者に与える影響等の検証、及び対人業務のプロセス、アウトカムの分析・評価。 ・ 諸外国における薬局薬剤師業務のプロセスの質の評価等に関する状況の把握。 ・ 上記を踏まえた、薬局薬剤師の対人業務の質を評価するための指標の開発。 	5,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
化学物質リスク研究事業 (KD)	化学物質によるリスク評価方法の検討に向けた研究 (KD-1)	① 化学物質の曝露により体細胞分裂終了後の細胞も含めた細胞に生じる遺伝毒性を含むゲノム毒性を検出する技術を開発する。さらに、ヒト健康影響評価への外挿が可能な遺伝毒性を含むゲノム毒性リスク評価スキームを確立する。 ② 有機フッ素化合物の曝露によって有害性がもたらされるメカニズムを解明するとともに、その有害性をもたらす原因を高精度かつ効率的に検出する技術を開発する。また、その原因を検出する技術に加えて、in vivo、in vitro、又はin silico 手法を適切に組み合わせ、複数の有機フッ素化合物に適用できるリスク評価法の確立を試みる。 ※本研究課題では、①と②の両者若しくはいずれかの成果を求めるものとする。	20,000	1~3	3
	化学物質の生殖発生毒性を評価する新規手法の開発のための研究 (KD-2)	・ 化学物質の生殖発生毒性について、ヒトへの外挿性が高く、迅速かつ信頼性の高い新規評価法の開発。	20,000	1~3	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	公衆衛生医師の確保に係る自治体と地域の大学との連携及び自治体におけるインターンシップ事業推進のための研究 (LA-1)	・ 保健所設置自治体等及び若手医師・医学生を対象としたアンケートやヒアリング等により、保健所設置自治体と地域の大学の医学部公衆衛生学講座等との連携状況及び具体的な取組を明らかにし、好事例を取りまとめる。 ・ 保健所設置自治体へのアンケートやヒアリング等により、公衆衛生医師のインターンシップ事業のモデルとなる自治体の選定及び取組内容の調査を行い、自治体における公衆衛生医師のインターンシップ事業のプログラム例を作成する。	4,000	1	2
	健康日本21(第三次)におけるソーシャルキャピタルに関する指標及び具体的方策の検討のための研究 (LA-2)	・ 健康日本21(第三次)の中間評価に向けて、健康指標との関連性や妥当性のあるソーシャルキャピタルに関する指標を設定するための基礎資料のまとめや提言を行う。 ・ 全国に横展開できる効果的かつ実行可能なアクションプランを提言する。	7,000	1	3
	健康危機発生時における保健所設置自治体や保健所の組織体制並びに人材育成等の強化、及びブロックごとのDHEAT体制強化のための研究 (LA-3)	・ 自治体や関係機関等に対するアンケート調査やヒアリング調査等を行い、その結果に基づき、被災経験が少ない保健所設置自治体等における、災害をはじめとする健康危機に対処するための組織体制の整備、マネジメント力の強化、人材育成等に役立つ資料を作成すること。 ・ 自治体や関係機関等に対するアンケート調査やヒアリング調査等を行い、その結果に基づき、各ブロックで活発にDHEATの体制強化や人材育成等を進めていくために有用な方策や留意点等を提言すること。	6,000	1	2

健康安全・危機管理対策総合研究事業 (LA)	災害時における地域保健活動を推進する体制整備に資する研究 (LA-4)	<ul style="list-style-type: none"> 各自治体における、新興・再興感染症やメンタルヘルスへの対応、近年の災害の動向等も含めた災害時の保健活動マニュアルの策定・活用の実態を把握し、好事例を収集・分析する。 健康危機管理に求められる統括保健師の役割・機能、平時からの体制整備及び災害時の保健活動に必要な内容を整理する。 災害時に自治体保健師が求められる役割・機能や対応、災害時の地域保健活動をとりまとめた手引き等を作成する。 	6,000	1	2
	人口減少時代における水道の強靱化のための研究 (LA-5)	<ul style="list-style-type: none"> 水道施設における災害時の断水リスクを評価する手法、及び必要な予備力を推計し、効率的にバックアップ体制を構築するための知見 災害時に水道水源を地域で効率的・有効的に活用するための方策 	7,000	1	3
	クリーニング業における消毒方法等の検証研究 (LA-6)	<ul style="list-style-type: none"> 現行における消毒方法等の妥当性及び問題点を整理した資料 課題点が明らかになった消毒方法等の改正案 クリーニングの新たな業態における衛生状況の問題点及び改善すべき点を整理した資料 	10,000	1	2
	旅館業等における感染防止対策等を含む衛生管理の推進のための研究 (LA-7)	<ul style="list-style-type: none"> 旅館業における特定感染症の国内発生に際して示すことが衛生管理上想定される具体的な対応策(案)(五類感染症になる前の新型コロナウイルス感染症を念頭) 上記基準等を前提として、旅館業の施設において特定感染症のまん延の防止に必要な対策を適切に講ずるための研修ツール(案) 新旧の興行場における建築設備、維持管理の多様性を踏まえ、興行場法に基づく興行場の衛生管理状況の実態調査を行い、実態や問題点を整理した資料 	10,000	1	2
	IoT、AI等の最新技術を活用した建築物衛生管理手法の検証のための研究 (LA-8)	<ul style="list-style-type: none"> 「デジタル技術を活用した建築物環境衛生管理のあり方に関する検討会」の中間とりまとめを踏まえた、法令・通達等の改正案の根拠となる科学的エビデンスを収集・整理した資料 同検討会の最終とりまとめの作成に必要な科学的エビデンスを収集・整理した資料 生活衛生関係技術担当者研修会において研究の成果を周知・公表 見直し報告書公表後の効果検証及び改善検討 	8,000	1	2
	国際保健規則国家連絡窓口からの情報を含む健康危険情報のリスクコミュニケーション機能強化に資する運用体制の構築のための研究 (LA-9)	<ul style="list-style-type: none"> 取り扱う情報の選定、情報収集・蓄積の方法、情報発信の方法、専門家間等のコミュニケーションを含む健康危機管理に資する情報管理統合基盤及び情報発信ポータルサイトの運営モデル(案)の作成。 	2,400	1	3